

いま増えている大人のむし歯 本当に怖い！「根面う蝕」

加齢や歯周病により歯肉(歯ぐき)が下がると、歯の根が露出します。見かけも気になるところですが、それ以上に問題なのが、歯の根の表面はとてもむし歯になりやすいということ。

噛むところの歯はピカピカなのに、根元がむし歯になってポキリ。せっかく残せていた歯を失いかねない「根面う蝕」についてのお話です。

根面う蝕ってなに？



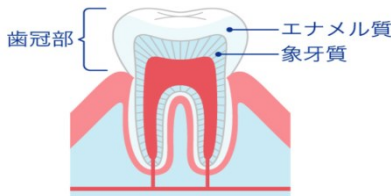
露出した根面にできるむし歯です。

歯は大別して、ものを噛む部分である「歯冠部」と歯を支える「歯根部」から成ります。歯冠部は歯肉(歯ぐき)より上の部分、歯根部は歯肉に埋まっている部分というのが、臨床的な分類です。

加齢や歯周病により歯肉が下がると歯の根元が見えてくるわけですが、この歯肉から覗く歯根部の面を「根面」と呼びます。

そして、この露出した根面がむし歯になることを「根面う蝕」といいます。

根面はなぜむし歯になりやすい？



理由その1：根面の象牙質を覆うセメント質がごく薄い。

理由その2：象牙質はエナメル質より早く溶け出す

予防は歯みがき！歯肉を下げないこと！



その1. 歯周病を予防する

とくに歯肉が下がる原因となるのは「歯周病」です。歯肉の腫れや歯のぐらつきなどを感じる前から、歯科医院で定期的に歯周病の検査をしてもらい、歯のクリーニングもしてもらいましょう。

その2. みがきかたにもご注意ください

根面のむし歯予防も、歯みがきによるプラークコントロールが基本となります。ですが、日常的に力を入れ過ぎて磨いていると、かえって歯肉を傷め、歯肉が下がる原因となります。歯肉を傷つけないやさしく丁寧な磨きかたを歯科医院で教えてもらいましょう。

その3. フロスや歯間ブラシを使おう

歯と歯のあいだの清掃がおろそかだと、そこから歯周病になってしまいます。フロスや歯間ブラシを日常のケアに取り入れましょう。根面にむし歯が起き始める場所も、歯と歯のあいだの根元まわりが多いので、一石二鳥の予防手段です。

～歯ぐきが下がるとリスクが上がる根面のむし歯。歯周病と合わせて予防していきましょう！～